



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年1月29日

上場会社名 株式会社ミクリード 上場取引所 東
コード番号 7687 URL <https://corp.micreed.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 片山 礼子
問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 谷口 学（TEL）03-6262-5176
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,791	12.5	391	12.0	393	12.3	257	12.3
2025年3月期第3四半期	5,149	14.6	350	14.4	350	14.4	229	14.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	38.99	38.83
2025年3月期第3四半期	34.80	34.65

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,830	1,605	56.7
2025年3月期	2,325	1,393	59.9

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 1,605百万円 2025年3月期 1,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	3.80	—	4.10	7.90
2026年3月期	—	4.20	—		
2026年3月期（予想）				4.20	8.40

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	10.7	400	7.5	400	7.1	275	6.5	41.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,614,600株	2025年3月期	6,594,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	405株	2025年3月期	405株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	6,605,039株	2025年3月期3Q	6,593,595株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復傾向が見られる一方で、国内においては食料品価格の上昇や、実質賃金のマイナス傾向が継続しており、消費マインドの下振れが懸念されております。また、米国の通商政策やウクライナ・中東情勢など不確定要素も多く、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

外食業界におきましては、インバウンド需要の拡大等から回復基調が継続しております。一方で、温暖化による原材料の供給不安や価格の高騰、更には人件費の上昇も続いており、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社は業務用食材通販のパイオニアとしてお客様の厨房を支えると共に、満足度を向上させるため、特別感がある商品やロス対策・人手不足対策商品の拡充、より使いやすいECサイトにするためのシステム投資など、お客様のニーズにお応えする活動を継続してまいりました。

これらの取り組みの結果、売上高の前年同月比増減率は下表のとおりとなりました。顧客数の堅調な推移と顧客単価の伸びを背景に全ての月で前年の売上高を上回る結果となっております。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
売上高前年同月比増減率（％）	+14.5	+12.1	+13.8	+13.7	+14.5	+12.3	+9.4	+9.3	+13.0

以上の結果、当社の当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高5,791百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益391百万円（前年同期比12.0%増）、経常利益393百万円（前年同期比12.3%増）、四半期純利益257百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

なお、当社は業務用食材通信事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,457百万円と前事業年度末に比べ482百万円増加いたしました。これは主に、12月売上高が3月比で大きく増加したことにより売掛金が197百万円増加、利益の拡大に伴い現金及び預金が192百万円増加、年末年始の休暇に備えて在庫を積み増したことに伴い商品が90百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は373百万円と前事業年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に、ECサイト等のシステム改修に伴い、無形固定資産が35百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,830百万円となり、前事業年度末に比べ505百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,147百万円と前事業年度末に比べ288百万円増加いたしました。これは主に、12月の売上高が3月比で大きく増加したことに伴い、この期間における仕入も増加し、買掛金が246百万円増加、未払法人税等が36百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は77百万円と前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に、退職給付引当金が4百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は1,225百万円となり、前事業年度末に比べ293百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,605百万円と前事業年度末に比べ212百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が202百万円増加したことなどによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては2025年10月30日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	918	1,110
売掛金	824	1,021
商品及び製品	219	310
原材料及び貯蔵品	1	0
前払費用	4	11
未収入金	12	8
その他	0	0
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	1,975	2,457
固定資産		
有形固定資産	122	110
無形固定資産		
ソフトウェア	121	129
その他	13	40
無形固定資産合計	134	170
投資その他の資産		
破産更生債権等	0	0
繰延税金資産	16	16
その他	76	76
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	92	92
固定資産合計	349	373
資産合計	2,325	2,830

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	620	867
未払金	156	176
未払費用	7	2
未払法人税等	48	84
未払消費税等	6	10
預り金	14	3
その他	3	2
流動負債合計	858	1,147
固定負債		
退職給付引当金	24	29
資産除去債務	47	48
固定負債合計	72	77
負債合計	931	1,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	93	98
資本剰余金	439	444
利益剰余金	860	1,063
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,393	1,605
純資産合計	1,393	1,605
負債純資産合計	2,325	2,830

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,149	5,791
売上原価	3,371	3,800
売上総利益	1,777	1,990
販売費及び一般管理費	1,427	1,598
営業利益	350	391
営業外収益		
受取利息	0	1
償却債権取立益	0	0
情報提供料	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	1
経常利益	350	393
税引前四半期純利益	350	393
法人税等	121	136
四半期純利益	229	257

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は業務用食材通販事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	42百万円	43百万円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。